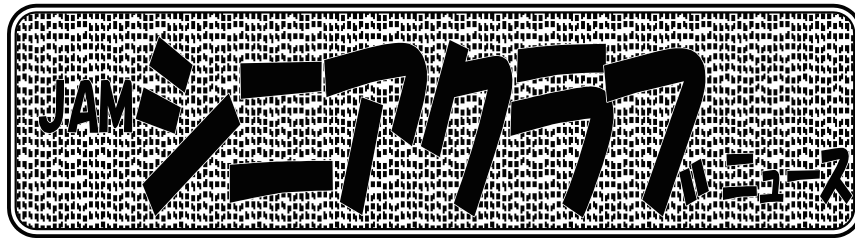


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第205号

発行日 2025年1月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

全国事務局長会議を開催

「郡山りよう」必勝と組織拡大に向け熱い議論

12月10日、東京・友愛会館において全国事務局長会議を開催しました。会議には、役員17人、地方シニアクラブ事務局長27人、JAM



M現役3人の47人が出席しました。今回は、「郡山りよう」を参議院に送る取組み」と「会員の拡大」の二つのテーマに絞り込み、グループ討論などにより徹底した議論を交わしました。

那珂副会長を座長に選出したあと、冒頭、大山会長から「年金改正については、年金が物価によって実質的に下がっている状況を変える取組みが必要。『103万円』問題については、物価上昇に伴って基準は引き上げるべき。社会保障の課題について大きな役割を期待できる郡山りようの必勝

に向け今一層の取組みの強化を。減少する会員数を回復させるため、会員拡大の取組みに足を一歩踏み出していききたい」などを骨子とする挨拶がありました。次にJAM現役を代表して中井書記長より、JAMの組織拡大の現況、大阪グンゼSOZの事業譲渡による組合つづし反対闘争の報告、ベア15000円を中心とする2025春闘の要求方針、厳しい状況下にある参議院の取組み状況、共済ユニオンの課題等、JAMの主要な取組みについての報告とシニアクラブへの支援のご挨拶を頂きました。

前半は参議院の取組みについて意見交換を行い、菅原JAM政治センター長より「JAM(現役)の取組み、大野事務局長より「JAMシニアクラブの取組み」について、また岐阜シニアの長澤会長、埼玉シニアの小泉事務局長から「地方シニアの取組み」についてそれぞれ報告を受けました。岐阜においては、会員以外の支持者拡大を目的に、各単組のOB名簿を極力集約する取組み、埼玉においては、応援者カード未提出者に対して、幹事全員で手分けをしてフォローする取組み。これらの報告をもとに、応援者カードの集約と活用、SNSの活用強化などについて質疑が交わされました。後半は「シニアクラブ会員の拡大に向けて」をテーマに全出席者を4つの班に分けてグループ討論を行いました。各班とも事前に集約した「会員拡大取組みアンケート」の結果をもとに、各地方の現状と取組み方針、プラン、アイデアなどについて報告をし合い、それらの報告に関連してフリーな意見交換が行なわれました。討論のあとは、各班の代表から討議内容について簡単な報告があり、次の問題点や課題が共通して取り上げられました。

①若年化し交代も早い現役役員とどう接点を作っていくか。
②シニアクラブの必要性とメリットをどうアピールし理解してもらおうか。
③雇用延長が進む中で、60歳時点、あるいは現役の時点でシニアクラブとの繋がりをつくりたいか。

長時間にわたる真摯で熱い討議は予定時間をオーバーし、16時50分に終了しました。

7月投開票の参議院選挙でJAMの「郡山りよう」候補を国会に送り出す支援を広げて下さい。「郡山りよう」候補支援の活動は、参議院でも自公与党を過半数割れに追い込み政権交代につなげ、金権で政治をゆがめ、医療、介護など社会保障制度での給付減・負担増を進める自民党政治に終止符を打ち取り組みでもあります。

2025年は物価高が止まらない可能性が大きくなっています。トランプ大統領は「関税男」を自称し、すべての輸入品に一律10〜20%を課す「普遍的関税」などを主張してきました。関税の引き上げは物価を上昇させ、アメリカの金利引き下げを難しくします。エネルギーから食料までも輸入に頼る日本は、物価高をもたらし円安から抜け出そうとするも、アメリカとの金利差は3〜4%が続くと言われています。

今年の通常国会では年金制度の改正案が審議されます。65歳以上の高齢者は人口の約30%、3千6百人を超えており、高齢者の消費回復がおざなりでは国内消費の拡大はあり得ません。国庫負担の引き上げなど物価に負けない年金給付の実現を基本にして取り組みます。

会長年頭の挨拶

JAMシニアクラブ会長 大山勝也

昨年の介護事業者の倒産・休業・解散は529社で、人材不足に加え昨年の訪問介護基本報酬切り下げによって過去最高です。介護保険制度の崩壊を防ぐにも、高齢者医療の改定や子ども・子育て支援でも国庫負担の引き上げ・税金の投入を避けてはられません。自公政府は27年度以降に不足する1兆円余の防衛費に必要な防衛増税(法人税、所得税、たばこ税)を順次

実施する予定ですが、25年度政府予算案で8兆7千億円にもなる防衛費には1兆円近くの敵基地攻撃能力保有費が含まれており、専守防衛を逸脱するもので反対です。しかし、子ども・子育てを含む社会保障では税収増が必要であり、所得税の最高税率、法人税の引き上げや金融資産所得の総合課税化、資産課税の強化などで税収を増やし、財源を確保することを求めています。

「郡山りよう」候補を国会に送り出し、子ども・子育てを含む社会保障制度の充実やその財源の確保に取り組みしましょう。

また、24年の世界の平均気温は、産業革命前と比べ1.6度高かったそうです。日本原水爆被害者団体協議会は昨年12月にノーベル平和賞を受賞しました。地球温暖化に対する取組み、核兵器廃絶、核兵器禁止条約への参加を求める取組みを前進させましょう。

主張



主張

郡山りよう年頭挨拶



JAMシニアクラブの皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年は皆様の力強いご支援のおかげで、多くの方々にお会いし、私の思いを伝えると同時に、数多くの「現場の声」を頂戴することができました。本当に感謝しております。そして、皆様の声を頂戴するたび、今の政治には私たち働く人・生活者の声が全然届いておらず、課題が山積していることを改めて痛感いたしました。

こうした状況を変えるには、政治の場に皆様の声を届ける他ありません。私は高校卒業後に自動車部品メーカーで働きながら労働組合や地域活動、子育てに奔走してきました。つまり、候補者になるまでは皆様と同じ普通の働く人でした。だからこそ皆様の抱える「現場の声」を一人の当事者として理解し、政治に届けることができるかと確信しています。

面における「現場の声」を実現する年です。必ず国政に立てるよう全力で取り組みます！是非一緒に、働き方を変え、暮らしを変え、将来にわたって安心できる政治、社会に変えていきしょう。更なるご指導、ご支援を宜しくお願いいたします！

年頭ご挨拶

日本退職者連合

会長 人見一夫



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には元気に新年を迎えられたことと思います。

新型コロナウイルスパンデミックから5年が経過して、コロナ感染も終息に向かいつつありますが、油断はできません。今年も健康第一、生命第一にこの一年を乗り切つていきましょう。今年も参議院議員選挙の補の必勝を目指して頑張りましょう。選挙に勝利し、私達の支持する議員を増やし安心して豊かに暮らせる地域社会を実現しましょう。日本は人口減少、少子高齢化社会に突入しています。社会保障制度を充実させ、

平和を守り、地域で安心して暮らせる社会をめざしていきましよう。そのためには年金、医療、介護、子育て等の施策の充実が欠かせません。石破政権は防衛費を増税により賄い、社会保障制度の見直しを検討しています。給付の抑制と自己負担の増加には私たちは反対です。日本退職者連合は地域で活き活きと豊かに暮らせるために、会員の皆様と共に頑張る一年にしたいと考えております。

皆様のご健勝、ご活躍を祈念して新年の挨拶とします。

第1回幹事会を開催

12月10日、全国事務局長会議に先立ち新年度第1回の幹事会を東京・友愛会館で開催しました。はじめに大山会長より、年金改正の



動向、「103万円の壁」については物価上昇に対する調整は必要との見解、また第3号被保険者の問題など政策課題の取組みを中心にした挨拶がありました。

協議事項では、①2025年度活動方針の具体化②2025年度予算の補正③政策課題ワーキンググループの最終報告④規定の見直し⑤選択的夫婦別姓の早期実現を求める署名活動⑥役員選考委員会の設置⑦全国事務局長会議について⑧第2回幹事会について、提案と質疑が行われました。

岐阜

新県庁見学&政策実現研修会

井亦廣幸 事務局長

岐阜シニアクラブは11月11日、岐阜新県庁見学と政策実現研修会を24名の参加を得て開催しました。新県庁舎前には並木と四季折々の景色が楽しめるよう、国指定天然記念物である「薄墨桜」や「中将姫誓願桜」などの樹木を配置し、緑豊かな空間として整備されています。議会棟1階は外壁にタイル、内装にヒノ



キ、美濃和紙をはじめとする県産材・県産品がふんだんに活用され、特にヒノキの香りは清々しさを感じさせます。議会棟5階はバリアフリーに配慮した議場に なっています。また、車いす傍聴席や親子傍聴室も設置してあります。行政棟2階（高さ約90メートル）には「岐阜県の新たなランドマーク」岐阜の景色を一望できる「清流ロビー」が整備されています。「360度」ここから見る景色はあまりにも雄大で心躍ります。見学終了後、「議会報告」を野村美穂岐阜県議会議員より、「労働組合と政治活動について」をJAM東海細谷正希副書記長よりそれぞれ講演を頂きました。野村県議は自身の体験を踏まえ介護ボランティア活動の必要性を熱く話されました。また、岐阜県の取組みの一つで社会基盤メンテナンスサポートを募集し日

◆郡山りよう3つの政策
「ものづくり」「中小」を基盤とした
くにづくり
公正で安心できる
価値を認めあう社会
働く者の尊厳を守る
ワークルール

日々の活動は SNSで発信中!

こちらからアクセス

常的に道路を利用されている方から道路の異常に関する情報を提供いただき重大な事故につながる危険を回避する事業（講習会参加、委嘱期間約3年）の取組み。また、様々なハラスメント問題を含む人権課題。「一人ひとりの人権が尊重される社会を目指して」企業、地域、自治体、先生・PTAでの人権学習・人権研修等、人権啓発のための出前講座を開設し幅広くサポートする取組み。

質疑では、県は様々な事業を展開しているが、初めて聞くこともあり特に力を入れる事業に対しては、分かりやすい発信等、興味を抱かせようという方法を検討して頂きたいとの意見が寄せられました。